

果樹栽培にチャレンジ!

ふくいの果樹 第6号
平成26年10月

秋は果樹栽培のスタート!

バックナンバーはこちら

ふくいの果樹

検索

秋(11月ごろ)は、ウメ・ナシ・カキといった落葉果樹の植付けに最適な季節です。植え付け計画を立てて、早めの準備を行いましょう。

植付けのポイント

- 日当たり、排水のよい圃場を選ぶ
- 11月までに植え穴の土づくりを完了する
- 苗木は早めに専門業者に注文する
- 年明けに植えつける場合は、水はけがよく、あられや強風にあたらない場所に仮植える



苗木の仮植え

苗木が届いたら1日吸水させ、植え付けまで仮植えます

「くだものづくり講習会」を開催します!

「果樹を植えてみたいけど、何をどうやって植えたらよいかわからない」そんな疑問にお答えする講習会を開催します。

お申込みは、福井県園芸研究センターまで(0770-32-0009)



【嶺南会場】

日時：平成26年10月21日(火) 9:30~11:30
場所：福井県園芸研究センター 公開実習室および圃場
内容：ブドウ・モモ・スモモの栽培
果樹苗の植付け・2年目以降の管理(実習あり)



【嶺北会場】

日時：平成26年11月5日(水) 13:30~15:00
場所：JA越前丹生 清水分室(福井市清水杉谷町45-88)
※カントリーエレベーターに隣接しています
内容：ブドウ・モモ・スモモの栽培
果樹苗の植付け(実習あり)



果樹栽培に興味をお持ちの方は、下記までご連絡ください

- ◆福井県農林水産部生産振興課 園芸振興グループ 堀江
福井市大手3丁目17-1 福井県庁内
(TEL0776-20-0432、FAX0776-20-0650、Mail seisan@pref.fukui.lg.jp)
- ◆福井県農業試験場園芸研究センター ウメ・果樹研究グループ 窪田
三方郡美浜町久々子35-32-1
(TEL0770-32-0009、FAX0770-32-5243、Mail engei-ken@pref.fukui.lg.jp)

モモ栽培のすすめ

福井県園芸研究センターでは、平成25年から、モモやスモモの栽培試験を行っており、より簡単に、おいしい果実がとれる栽培方法の確立を目指しています。

今回は、モモ栽培の魅力についてお伝えします。

みんなが大好きな「モモ」

モモは、「日本人が好きな果物ランキング」（NHK放送文化研究所 2007）において、第3位になり、特に男女を問わず20～50代に人気があります。

モモというとお盆頃に出荷される「白桃」が主流ですが、近年は9月ごろに収穫できる大玉・高糖度の品種や「黄桃」が注目されています。

また植付け3年目から果実が採れ始め、育成期間が短いのは生産者にとって魅力です。



「白鳳」(白)と「黄金桃」(黄)

モモの経営試算と年間作業

(1) 経営試算

モモは、10アールあたり約104万円(520円×2,000kgを想定)の売り上げが期待できます。経費としては、多目的防災ネットや果樹棚、かん水設備にかかる減価償却費、次いで出荷経費が多くかかります。売上から経費を差し引いた所得は、約40万円が見込めます。

圃場によっては、果樹棚やかん水設備を省き、初期投資を抑えることができます。

(2) 年間作業

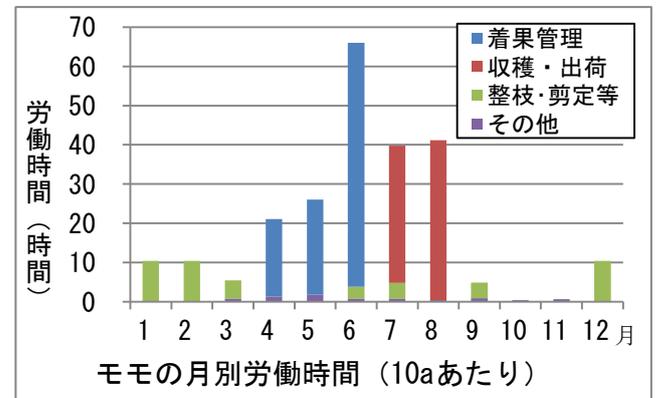
モモの栽培は、着果管理、収穫・出荷作業を中心に、4～8月にかけて多くの作業時間が必要で、年間の作業時間は10aあたり約240時間になります。

モモは大玉で品質のよい果実をとるために、5月上中旬に予備摘果、5月下旬から6月上旬にかけて仕上げ摘果を行います。また直売向けには、完熟したものを収穫するので、丁寧な作業が必要です。



肥料農業費等
6万円

モモ栽培の収支例(10aあたり)



<p>摘花 果実の初期肥大促進のため、花を間引きます</p>	<p>摘果 いい形の果実だけを残します</p>	<p>収穫 傷つけないよう手のひら全体で掴んで採ります</p>	<p>せん定、誘引 余分な枝を整理します</p>